

町民の皆様へ

「秩父市への合併

申し込みについて」

皆野町長 石木戸道也

秩父市との
合併に向け、
合併推進室を
設置しました

皆野町の市町村合併は、平成16年2月執行の皆野町の合併についての「住民投票」において、3択方式の有効投票8,010票のうち、秩父地域は一つとする広域合併が、3,920票の圧倒的多数でありました。その後、長瀬町との合併に向けた法定合併協議会を発足させましたが、平成17年3月に協議が整わず破綻しました。

平成19年度は11億8,000万円と6億円の大幅な削減となっており、急速に進行している少子高齢化への対応、自らの判断と責任において行政サービスを提供する地方分権化の推進、800兆円にのぼる債務残高による国、地方の財政硬直化の下で、高まる多様な行政需要に安定して将来にわたりサービスを提供し維持できるかが課題であり、現在の小規模自治体では困難であります。このような状況に的確に対応するためには、行財政の効率化などにより市町村の財政基盤の強化を図る必要があり、最も有効な方策は、市町村合併であ

ると確信しています。このような基本的な考えのもと、平成18年4月執行の「町長選挙」において、私は秩父市との合併を大きな公約として多くの支持をいただきました。市町村合併は、合併ができれば即、財政も豊かになり、すべて解決しバラ色になるというものではありません。合併の有無にかかわらず、行財政改革は更に進める必要があります。要は、合併しても大変、合併しなければもつと大変になるということであり、また、合併は財政が疲弊してからは遅いものであり、将来の安定した町のあり方を真剣に考えるとき、まだ余力のあ

るうちに合併を推進していくことが、町政を負託された町民の皆様に対する責務であります。町長に就任以来、合併推進の環境づくりを模索してまいりましたが、去る6月10日開会の皆野町議会第2回定例会において、持田欣教議員より「秩父市との合併推進を求める決議」が提案され、大変重い責任が伴う記名投票により9票対2票で可決されました。この決議は、私の合併に対する基本方針を裏打ちするもので、大変心強く、また重いものであると受け止めています。「秩父市との合併を目指し秩父市並びに秩父市議会に対し早期に合併協議を具体的に進めるべきである」とする決議の趣旨を真摯に受け止めて、6月19日に四方田忠則町議会議長と共に文書により合併を申し込みました。栗原稔秩父市長からは、秩父を一つとする考えのもと、前向きに検討する旨の意向が示されました。

このような経緯を踏まえまして、7月1日に合併推進室を立ち上げ、3人の職員を配置し、今後町民より負託された町議会議員ともよく協議調整を図りながら、合併新法の期限内の合併に向けて進めてまいりますのでご理解をお願いいたします。以上のとおり、秩父市への合併申し込みの状況を報告申し上げます。



町では、6月定例会での「秩父市との合併推進を求める決議案」の可決を受け、秩父市との合併を推進する組織として、7月1日から「合併推進室」を設置しました。将来にわたり安定したまちづくりを進めていくため、秩父市との合併に取り組んでまいります。今後は、合併協議会の設立に向け、秩父市との協議、県との連絡調整などを行い、「市町村の合併の特例等に関する法律（合併新法）」の期限である平成22年3月31日までの合併を目指します。

問合せ

合併推進室（役場2階）
☎62-12330
内線260